

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	在宅当番医制事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	保健福祉部	課等名	保健課		包含する細々目	1	4	1	1	14	1		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり												
施策	32 医療の充実												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要							
		事業期間		年度～	年度	関連計画 条例等							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	郡市民 委託料支出先:飯伊地区包括医療協議会 飯伊の医療機関	郡市民の人口合計	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			177000	177000			
		飯伊の医療機関数(歯科除く。)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
			108	108			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	急な怪我や病気に対応できる医療機関の確保をする。	年間在宅当番延べ回数(歯科・調剤除く。)	18目標	338回	最終目標	-	
			18実績	382	19目標	382	↑
			23目標	380	23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
18実績				19目標		↑	
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	休日における救急医療体制(第1次医療)として、在宅医療機関を当番制にして、郡市民の救急対応をしている。地区が飯田地区と阿南地区に分け実施。飯田医師会への委託事業	在宅当番医制事業の実施 飯田地区分として平成18年度 236日 阿南地区分として 146日を実施 市から医師会への委託料 飯田地区3,540,000円 阿南地区2,190,000円 歯科調剤5,170,000円	在宅当番日数(日)	飯田地区236日 阿南地区146日
		18年度に同じ		
	18年度の実績			
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	2,610	2,672
	一般財源	8,230	8,288
事業費計(A)	10,840	10,960	
人件費	正規職員所要時間	18年度 80	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	286	0
	トータルコストA+B	11,126	10,960

特定財源内訳や補足事項
平成16年度から県補助金なし、一般財源化された。その他は飯伊包括医療協議会に委託する事業で該町村負担金

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値				
	急に怪我や病気になった場合の医療機関の確保ができることにより、安心して生活できる。	在宅当番医制に参加する実施医療機関数	現状値	37	19実績		
			20実績		21実績		
			22実績		23目標		
			現状値		19実績		
			20実績		21実績		
22実績				23目標			

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>救急医療を充実させるため、日曜、祝祭日等の在宅当番医制(第1次医療)が国の補助金対象とし契約して負担を始めたのは昭和58年4月1日である。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>第一次医療と第二次医療の区分により医療機関対応してきたが、区別が混在化してきた。病気になるば一次医療対象の風邪でも病院へ行くなど一次医療を目的とした在宅当番医制についての認識が薄れてきている。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>小児救急について、専門医師の数不足が問題化している。</p>
--	--	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) 結びつく (その理由)</p> <p>緊急の時の医療機関が開設していることで、安心した生活ができる。</p>	有効性 評価	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) 余地がない (その理由)</p> <p>対象が急病人と不特定のため。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>急な怪我や病気に対応できる医療機関を身近なところに確保することが目的であるため対象見直しは必要ない。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) 影響あり (その理由)</p> <p>郡市民が安心して生活できる環境基盤が必要である。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>急な怪我や病気に対応できる医療機関を身近なところに確保することが目的であるため対象見直しは必要ない。</p>		<p>他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)</p>	<p>(評価) 必要ある (その理由)</p> <p>広域的な事業で、各地方公共団体で費用負担している。また、地域医療計画に基づき、充実することを謳っている。</p>		<p>効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) 不可能 (その理由)</p> <p>医師の待機料については、15年度県基準を下回っている。これ以上待機料の減額は出来ない状況にある。</p>
			公平性 評価	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>郡市民が対象のため、各町村で応分の負担が必要である。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 2025年度</p> <p>具 体 化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>当面現状維持とする。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>なし</p>
---	---

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>	

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	